

青少年いわて

2022年3月発行 No.87



例年実施しておりました「いわて親子フェスティバル」は、今年度「親子で遊ぼう! キッズラボミニ」という名称で、二日間にわたり開催しました。5月から多くのボランティアが企画を考え製作していましたが、コロナが蔓延し一時は開催も危ぶまれました。しかし、コーナー数も参加者数も減らし、ボランティアも二日間に分散、事前予約制でコロナ対策を徹底して開催することができました。

記念に残る手形やカラフルなスライムを作ったり、自分の描いたお魚をスクリーンで泳がせたり、

もぐらたたきに奮闘したり、短い時間の中でも子どもたちはマスク越しに笑顔があふれていました。人数を制限したことで、ボランティアもゆとりをもって子どもたちに接することができたことは良かったです。

また、予約がとれず会場で遊ぶことができなかった子どもたちを対象に、ボランティアが用意した自宅で遊べる「工作セット」を抽選でプレゼントしました。

来年度は、もっとたくさん子どもたちが参加できるフェスティバルになることを願っています。

トピック

- ・親子で遊ぼう! キッズラボミニ
- ・「いわて家庭の日」絵画・ポスターコンクール
- ・情報メディア対応能力養成講座
- ・社会生活に困難を有する子ども・若者支援セミナー
- ・こどもの心をつかむわくわくワークショップ

- ・青少年育成セミナー（研修会）
- ・青少年育成地域活動支援事業
- ・青少年育成講師派遣事業
- ・青少年なやみ相談室
- ・令和3年度事業カレンダー

アイーナ

11月6日

10:00
～
15:00



親子で遊ぼう！キッズラボ ミニ

思い出アルバム 2021

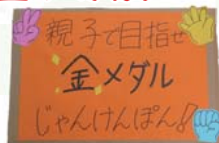
アイーナ

親子で遊ぼう！
キッズラボ

遊びリンピック
「親子で目指せ金メダル
じゃんけんぽん」
6F ラウンジ



見事なレース展開で
堂々の入賞!!



遊びリンピック
「動物かけっこ
親子でまわっこ」
6F ラウンジ



楽しくフリースロー
6F 団体活動室1



みんなでたたこう もぐらたたき
6F 団体活動室1



色んな顔のもぐらくん!
カワイすぎて叫けない!!



受付

6F ラウンジ
7F 小田島組



NPO 活動文



いわて家
絵画・ポスト
作品
7F 小田島組



作ろう! くになつと手形
6F 団体活動室3



10年後
どれくらい
大きくなってるかな!



絵の具でカラフル!
ぷるぷるスライム
6F 団体活動室2



描いた魚が泳いでる!
嬉しいね♪

お絵かき水族館
6F 団体活動室4



いくつになっても
ワクワクしますね~♪

ミニSL

7F 小田島組★ほ〜る



ぼう! ボミニ



遊びリンピック

「ドリフスルで敵を倒せ!
君の勝利はすぐそこに!」
7F 小田島組★ほ～る入口付近



アイーナ

11月7日

10:00
～
15:00



ワクワク工作タイム

3F ファブテラスいわて



恐竜の3Dパズル



大昔の恐竜を
最新技術で再現!

ワクワク工作タイム

3F ファブテラスいわて



オリジナルコースター

受付に来たら
お土産もらってね!!



シューティング
射的王

7F 小田島組★ほ～る

全員で一斉射撃だ!!
何かに当たるはず!!



大きなたこ焼き!
何個入るかな?

たこ焼きビンゴゲーム

7F 小田島組★ほ～る



自分で作る
かわいい
アクセサリ!

かわいい キラキラアレスレット

7F 小田島組★ほ～る



この一投で
決めて見せる!



目指せボウリング王!

7F 小田島組★ほ～る

おうち
キッズラボ

工作セット
プレゼント

W 100名様

たくさんのご応募
ありがとうございました!!

Aコース

手形制作キット
ロケット制作キット 等々



Bコース

アクセサリ制作キット
マグネット制作キット 等々



ちなみに、応募条件のクイズ・・・

「毎月第○日曜日は「いわて家庭の日」」○の中に入る数字は何でしょう。

正解は、「3」でした! ※「いわて家庭の日」については本紙4ページでご紹介しています。



つつつつっ! かぞくで
ながしそめんをしたよ。

洋野町立大野小学校 1年
かしわぎ さあしや
柏木 咲沙 さん

令和3年度 「いわて家庭の日」 絵画・ポスター コンクール

最優秀賞



一緒に食べよう

岩手大学教育学部附属中学校 2年
さんべ
三部 ひかり さん

令和3年度「いわて家庭の日」絵画・ポスターコンクール 優秀作品が決まりました。

『令和3年度「いわて家庭の日」絵画・ポスターコンクール』の入賞者表彰式が11月21日(日)に北上市のおでんせプラザぐろーぶ3階の北上市生涯学習センター第1学習室で開催されました。

今年度は県内の小・中学校、高校から89点(児童の部59点・生徒の部30点)の作品の応募があり、10月19日(火)に開催された選考委員会にて、最優秀賞2点(児童の部1点・生徒の部1点)、優秀賞3点(児童の部2点・生徒の部1点)、優良賞7点(児童の部5点・生徒の部2点)が選出されました。

優秀作品を含めた全ての作品は10月15日(金)から31日(日)まで盛岡市のいわて県民情報交流センター(アイーナ)で、11月11日(木)から21日(日)まで北上市のおでんせプラザぐろーぶ3階展示スペースにて展示を行いました。

多くの方々に作品を観ていただき、「いわて家庭の日」を広く周知することができました。

お
知
ら
せ

令和4年度「いわて家庭の日」絵画・ポスターコンクール開催決定!

コンクールに関する詳細等は、後日学校へ郵送する応募要項またはホームページでご確認いただけます。
※作品は学校ごとの応募となります。

毎月第3日曜日は「いわて家庭の日」

青少年が健やかに成長するには、家庭の力が欠かせません。子どもと向き合う、家族みんなで過ごす、家族そろって食事をする。

『いわて家庭の日』は家庭を大切に、実践する日です。



家族そろって食事をしましょう

家族でいろいろ話す時間を多くしましょう

家の仕事をみんなでしましょう

食事の準備、後片付け、掃除、洗濯など

語り合い、教え合い、支え合いを大切にしましょう

家族の絆、思いやりを育むように心がけましょう

早寝早起き朝ごはん

家族でルールを決め、生活リズムを整えましょう

事業所などでも、家庭生活を支援できる職場づくりをしましょう

優秀賞



かぞくではな火を見たよ。

洋野町立大野小学校 1年

うわの らら
上野 空詩 さん



おばあちゃんの野菜大好き

北上市立和賀東小学校 5年

にとべ ちづる
新渡戸 千鶴 さん

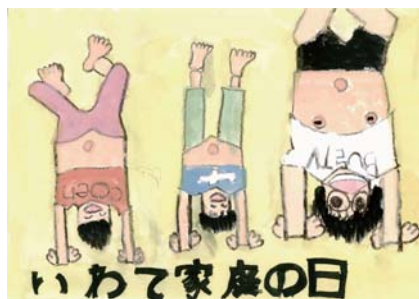


Let's カレーパーティー

岩手県立花巻北高等学校 1年

ふじた わかば
藤田 若葉 さん

優良賞



逆立ちできるようになったよ。

二戸市立石切所小学校 3年

あらい きい
新井 葵衣 さん



夏の思い出

大船渡市立越喜来小学校 4年

さとう きった
佐藤 吉汰 さん



四人きょうだい

遠野市立遠野中学校 2年

ただ さき
多田 早嬉 さん



きれいな海と私の家族

九戸村立長興寺小学校 5年

おおさき ももか
大崎 百々香 さん



家族みんなで野菜の収穫!!

九戸村立江刺家小学校 6年

はやし み
林 その美 さん



家へ帰ろう

奥州市立水沢中学校 3年

よしだ あかり
吉田 朱梨 さん



家族で岩手山を見に行こう

岩泉町立有芸小学校 6年

くどう ちはる
工藤 千喜 さん



入賞者の皆さんと菅野県民会議会長
※表彰式会場で撮影したため、当日欠席した入賞者は含まれていません。

情報メディア対応能力養成講座 (併催 青少年をネット依存から守るための講座)

青少年健全育成関係者や保護者を対象に、インターネット上の有害情報やネットを巡る問題、ネットトラブル、ネット依存など、青少年を取り巻く現状への理解を深め、情報メディアへの対応能力を養成することを目的に「令和3年度情報メディア対応能力養成講座」を県内3地域で、「青少年をネット依存から守るための講座」を沿岸地域で開催しました。

なお、会場での講座開催の様子は、動画配信を行い希望者に公開しました。

県北・県央・県南の3地域では、県民会議職員が講師となり「情報メディアとの上手な付き合い方」と題して、青少年のインターネット利用の現状やトラブルの事例を報告するとともに、ルール作り等、家庭での取り組みについて紹介しました。

また、沿岸地域では、岩手医科大学附属病院児童精神科医師、内出希先生から「ゲーム・ネット依存症について」と題して講演をしていただきました。講演では、ネット依存症と発達障がいの関係や、ネット依存の予防の方策等について実際の症例を交えながら紹介していただきました。

日程：令和3年11月24日(水) (県北会場・久慈地区同庁舎)
(会場) 令和3年11月30日(火) (県央会場・盛岡地区合同庁舎)
令和3年12月2日(木) (県南会場・一関地区合同庁舎)
令和3年12月7日(火) (沿岸会場・宮古地区合同庁舎)
講師：県北・県央・県南会場 県民会議職員
沿岸会場 内出 希 氏
(岩手医科大学附属病院医師)



県央会場の様子



県南会場の様子



沿岸会場の様子

家族で考えよう !! 守ろう !! わが家のネットルール !!

県教育委員会の調査により、青少年のスマートフォン(スマホ)の利用時間が年々増加傾向にあることがわかりました。また、中学2年生の51%がスマホを1日に2時間以上使用していることもわかりました。

スマホの長時間利用やSNSでの過度な個人情報の投稿などは「ネット依存(スマホ依存)」を初めとするネットトラブルの大きな要因となります。

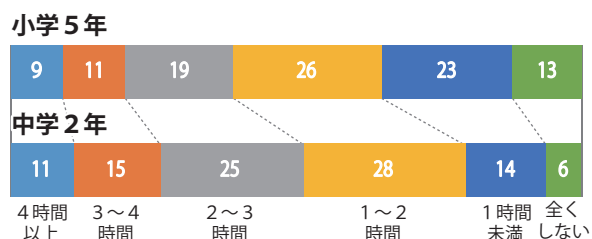
しかし、こういったトラブルから未然に子どもたちを守るための法律や条例はまだ完全には整備されていません。

そこで、家庭ごとにネット利用に関するルールを作って、子どもを守る必要があります。

家族で話し合っって子どもたちを守るためのネットルールを作ってみましょう。



令和3年度 平日1日のスマホ利用時間(%)



(2021年度県学習定着度状況調査より)

ルール作り5つのポイント

前提：保護者は持ち主、子供は借りているだけ!!

1. 家族全員で話し合う。
2. 「不安」や「心配」なことを解決するルールにする。
3. ルールを破った時のルール(ペナルティ)を決める。
4. 作ったルールは紙に書いて見えるところに貼る。
5. ルールは定期的に見直す。



令和3年度第1・2回社会生活に困難を有する子ども・若者支援セミナー

子どもの問題を抱える家族への理解と支援

2月7日（月）、14日（月）にアイーナ8階の804A会議室で令和3年度第1・2回「社会生活に困難を有する子ども・若者支援セミナー」を開催しました。

今年度は「子どもの問題を抱える家族への理解と支援」をテーマに全2回の連続講座を開催し、岩手大学人文社会科学部教授、奥野雅子氏が講師となり講演とワークショップを行っていただきました。

また、希望者へオンラインでの動画配信を行い、会場に来られない方に対してもリアルタイムで講演が視聴できるようにしました。

第1回目では、「子どもの問題を抱える家族への支援～不登校やひきこもりに着目して～」と題して講演をしていただきました。講演では、「不登校」という用語の変遷（「怠学」→「学校恐怖症」→「登校拒否」→「不登校」）から、社会の「不登校」に対する関心や取り組みが変化していることを説明し、その後「不登校」への家族の理解やアプローチの方策についてお話いただきました。

第2回目では、ワークショップを通して、支援者が「不登校」の子どもと接する際のコミュニケーションのポイントについて、事例を用いて教えていただきました。

参加者からは「内容が分かりやすかった」や「今後の支援の参考にしたい」等の感想が寄せられました。



奥野雅子先生



講演の様子



ワークショップの様子①



ワークショップの様子②

講演のポイント

1. 不登校のきっかけとなる理由

- ① 友人関係をめぐる問題（いじめ・けんか 等々）
- ② 親子関係をめぐる問題（親からの叱責・親への反抗 等々）
- ③ 本人に関わる問題（不安・緊張・無気力 等々）

2. 不登校の背景にある要因

- ① 学校（教師との関係・友人との関係・学業 等々）
- ② 家庭（家族関係・生活環境・教育姿勢 等々）
- ③ 本人（発達・精神面・生活週間・興味関心 等々）
- ④ 社会（目標・生きがい・価値観 等々）

3. 不登校による体調や環境の変化

体調の変化 → 体がだるい、気が重い（頭痛・腹痛・動悸 等々）
生活環境の変化 → 昼夜逆転生活



4. 不登校からの回復過程

静かな引きこもり

- ・昼夜逆転生活になる。
- ・誰とも接触したくなくなり、人との接触を避ける。

豊かな引きこもり

- ・好きなことをやれる（本を読む・絵を描く等々）。
- ・友達と連絡をとったり、一緒に会って遊んだりしたくなる。

登校準備期

- ・友達と会って遊んだりする。
- ・学校の先生とも話すことができる。

登校



5. 不登校支援のアプローチ方法の変化

学校無刺激

学校に関する話は無し。学校に関係する近況等を話す。

学校関心刺激

学校刺激

学校に通うこと以外の方法を示す等、親の考えを伝える。

登校刺激

登校をうながす。

6. 不登校支援の方向性

- ① 学校資源の活用（保健室・別室・指導室 等々）
- ② 家族援助の重要性
- ③ 専門機関との連携



こどもの心をつかむ わくわくワークショップ

日程：令和4年1月23日（日）

会場：矢巾町公民館 大研修室

講師：第1部 くぼたまさと 氏

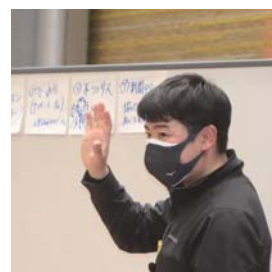
第2部 及川 未希生 氏（盛岡大学短期大学部助教）

1月23日に矢巾町で、子どもとの活動に興味のある方を対象にワークショップを開催しました。参加者は10代から70代と幅広く、新型コロナウイルス感染症対策を行った上での開催となりました。

第1部は、テレビ番組「つくってあそぼ」のわくわくさんでおなじみの、くぼたまさとさんによる紙コップや紙皿を使った工作で、材料を切る時のポイントや、子どもに教える時の注意点など、楽しいトークを交えながらロケットや風車などの工作を教えていただきました。

第2部は、盛岡大学短期大学部の及川未希生先生にコロナ禍でもできるアイスブレイキングを教えてもらいました。大人も楽しんでできる内容で、初対面の参加者もすぐに打ち解けることができました。

参加者からは、どちらの講座もすぐに実践できるもので、楽しく学ぶことができたという感想が寄せられました。



第1部の様子

第2部の様子

青少年育成セミナー（研修会） 子どもの心の成長を支えるーがまんする力、めげない強さー



講演の様子



会場の様子



中原美恵先生

日程：令和3年10月27日（水）

会場：アイーナ 501 会議室

講師：中原 美恵 氏

（東洋大学名誉教授）

青少年健全育成関係者や保護者を対象に、「子どもの心の成長を支えるーがまんする力、めげない強さー」と題し、東洋大学名誉教授の中原美恵先生に講演をいただきました。

子どもには、努力こそが目標達成の鍵で、諦めずに挑戦し続ける「成長的マインドセット」という感覚を育てることが大切であり、大人が、やってもだめだと決めつける「固定的マインドセット」を持って接しないようにすること。結果に目を奪われずに努力している過程に対して言葉をかけること。困難に遭遇しても、困難を成長の糧にできる大人による子どもの支援が大事で、子どもと共に成長し続ける存在であること。

このような内容で動画での事例を交えながら、お話ししていただきました。参加者からは、今後の子どもとの関わりにとっても参考になったという感想が寄せられました。

青少年育成講師派遣事業

地域における青少年育成活動の活性化を図り、家庭や地域の教育力の向上につなげるため、青少年育成支援活動に関わる実践者などの幅広い分野の人材を名簿に登録して、地域で活動する団体・グループが行う研修会・講演会に講師派遣の支援を行いました。

登録講師：個人 18 名、団体 1 団体（令和 3 年 5 月 10 日現在）

今年度は令和 4 年 1 月末まで派遣申請の受け付けし、計 3 団体から申請がありました。その内、2 団体は開催延期等の調整を行いましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、開催中止となりました。

実施状況

開催日程	申請団体	会議名称	対象	派遣講師
令和 3 年 9 月 9 日（木）	宮古市立田老第一小学校	家庭教育学級	保護者	五十嵐 のぶ代 氏

青少年育成地域活動支援事業

地域における青少年育成活動の推進及び親の世代の子育て意識や教育の向上を図るため、地域で活動する団体が行う体験・交流・実践活動事業や家庭・地域ふれあい教育推進事業 5 件に対し助成しました。（1 件 5 万円以内）

1. 北っ子の会「漁業体験・海洋スポーツ体験、自衛隊見学」

日程：令和 3 年 8 月 1 日（日）～ 10 月 10 日（日）

内容：養殖いかで漁業体験、

バナナボート、シーカヤック等の海洋性スポーツ実施

片道 4 キロの整備された山道のウォーキング及び自衛隊施設見学



海洋性スポーツ体験の様子
（画像提供：北っ子の会）

2. 何でもやろう会「チャレンジしよう！「ボランティア活動」」

日程：令和 3 年 11 月 6 日（土）～ 12 月 19 日（日）

内容：講話「ボランティアって何だろう？」、りんご農家の収穫の手伝い
点字・手話の体験



山道ウォーキング体験の様子
（画像提供：北っ子の会）

3. 宮古第二中学校 PTA「親子でふれあう環境整備・資源回収仕分け作業」

日程：令和 3 年 11 月 6 日（土）

内容：環境整備ポスター作り、

木の剪定・草刈り、木の剪定後の処分運搬（学校校庭）

窓ふき・サッシ掃除（校舎）等



農家の収穫の手伝い体験の様子
（画像提供：何でもやろう会）

4. 山田愛信館「リベンジ・ザ・オランダ島」

日程：令和 3 年 8 月 8 日（日）

内容：オランダ島砂浜のごみ拾い、親子でロープワーク、

海洋性スポーツ（カヌー・サップ・バナナボート）の体験等を実施

5. PLELL「こども謎解き体験「ナゾトキヒミツキチ！」」

日程：令和 4 年 1 月 10 日（月・祝）

内容：「謎解き」をテーマにしたワークショップ

青少年相談事例検討会

第1回「虐待防止セミナー」

日程：令和3年11月8日（月）

会場：アイーナ 804A 会議室

講師：平川 昌宏 氏

（東北福祉大学総合福祉学部准教授）

第2回「模擬事例検討会」

日程：令和4年2月8日（火）

会場：アイーナ 804B 会議室

講師：三上 邦彦 氏

（岩手県立大学社会福祉学部教授）

青少年相談事例検討会は、県内の相談関係機関の相談員等を対象とし、各機関における相談事例や模擬事例への対応についての検討・意見交換を行うこと等を通じて、相談担当者の課題解決能力や相談スキルの向上及び相談機関相互の連携促進とネットワークの構築を図ることを目的に年2回開催しています。

本年度の第1回検討会は、11月8日（月）に東北福祉大学総合福祉学部の平川昌宏准教授を講師に迎え、「孤立と虐待を生まない地域社会を目指して」と題した虐待防止をテーマとするセミナーを開催しました。相談機関に加え、市町村児童福祉担当課や保育園、幼稚園から参加を募り、幅広く学べる場としました。講師からは、育児の孤立化や虐待の発生と予防について、具体的な事例を交えたわかりやすい説明があり、虐待を生む要因とその対策について理解を深めることができました。

なお、講演の様子は希望者にオンライン（YouTube）での配信も行い、参加者はオンライン受講者も含めて80名でした。



第1回相談事例検討会の様子



第2回相談事例検討会の様子

第2回は、2月8日（火）に岩手県立大学社会福祉学部の三上邦彦教授を講師に迎え、11機関15名が参加して、ヤングケアラーに関する模擬事例検討会を行いました。コロナ禍の中ではありましたが、感染対策に万全を期しつつ、グループワークで実施しました。参加者が3グループに分かれ、各グループとも事例の課題とその背景を深く掘り下げ、支援方策や関係機関との連携の在り方などについて意見交換が行われました。各機関同士の相互理解が深まり、支援に有効な種々の社会資源についても、情報交換することができました。

実施後のアンケートでは、第1回では「具体例があり理解しやすく良かった」「支援の必要性や手法を体系的に学ぶことができた」「また平川先生のお話を伺いたい」などの感想が、第2回では「各機関の見立てや資源について情報共有したことで新しい発見と学びがあった」などの感想が寄せられ、本検討会の当初の目的を達成できたものと思われます。

みなさんはもちろん、家族、周りの大人の方からの相談にも応じます

●相談時間（電話・面談）●
9:00～16:00
（月・木のみ 9:00～20:00）
※土日祝もOKです
※面談は予約が必要です

●メール受付時間●
24時間
nayami@aiina.jp
※返信は遅れることがあります

青少年活動交流センター アイーナ 青少年 検索
〒020-0045
盛岡市盛岡駅西通1丁目7-1 アイーナ6F

匿名でOK
秘密は固く守ります！
どんなことでも
お気軽にご相談
ください

青少年なやみ相談

進路 いじめ
親子関係
体のことなど

誰にもいえない
どうしていいかわからない
困っているとき 苦しいとき 不安なとき

電話番号
（相談専用）

思いきって
話してみませんか

019-606-1722

県民会議通常総会

日程: 6月16日(水)

会場: アイーナ

内容: R2事業報告、収支決算、役員の専任 等

**青少年を非行・被害から
守る県民大会**

日程: 7月14日(水)

会場: アイーナ

内容: 主張発表、作文発表、基調講演 等

わたしの主張岩手県大会

日程: 9月15日(水)

会場: 岩手県庁

内容: 地区大会代表者による主張発表のビデオ審査

青少年育成セミナー

日程: 10月27日(水)

会場: アイーナ

講演: 子どもの心の成長を支える

講師: 中原 美恵 氏
(東洋大学名誉教授)

**親子で遊ぼう!
キッズラボミニ**

日程: 11月6日(土)・7日(日)

会場: アイーナ

内容: 遊ぼうコーナー、作るコーナー、ミニSL、ぬり絵 等

相談事例検討会①

日程: 11月8日(月)

会場: アイーナ

講演: 子ども虐待防止セミナー

講師: 平川 昌宏 氏
(東北福祉大学准教授)

**「いわて家庭の日」
絵画・ポスターコンクール
入賞者表彰式**

日程: 11月21日(日)

会場: おでんせプラザぐるーぷ

内容: 入賞者に対する賞状及び記念品の授与

**情報メディア対応
能力養成講座①**

日程: 11月24日(水)

会場: 久慈地区合同庁舎

講演: 情報メディアとの手な付き合い方

講師: 県民会議職員

**情報メディア対応
能力養成講座②**

日程: 11月30日(火)

会場: 盛岡地区合同庁舎

講演: 情報メディアとの手な付き合い方

講師: 県民会議職員

**情報メディア対応
能力養成講座③**

日程: 12月2日(木)

会場: 一関地区合同庁舎

講演: 情報メディアとの手な付き合い方

講師: 県民会議職員

**情報メディア対応
能力養成講座④**

日程: 12月7日(火)

会場: 宮古地区合同庁舎

講演: ゲーム・ネット依存症について

講師: 内出 希 氏
(岩手医科大学付属病院医師)

**こどもの心をつかむ
わくわくワークショップ**

日程: 1月23日(日)

会場: 矢巾町公民館

内容: 指導者向け工作教室、アイスブレイク講座

講師: くぼたまさと 氏
及川 未希生 氏

**社会生活に困難を有する
子ども・若者支援セミナー①**

日程: 2月7日(月)

会場: アイーナ

講演: 子どもの問題を抱える家族への支援

講師: 奥野 雅子 氏
(岩手大学教授)

相談事例検討会②

日程: 2月8日(火)

会場: アイーナ

内容: 模擬事例の検討

講師: 三上 邦彦 氏
(岩手県立大学教授)

**社会生活に困難を有する
子ども・若者支援セミナー②**

日程: 2月14日(月)

会場: アイーナ

内容: 支援者向けワークショップ

講師: 奥野 雅子 氏
(岩手大学教授)

**「いわて家庭の日」
絵画・ポスターコンクール
応募作品展**

盛岡展(アイーナ)
(10/15(金)~31(日))

北上展(おでんせプラザぐるーぷ)
(11/11(木)~21(日))

通年実施事業

- ・青少年なやみ相談室
- ・「いわて家庭の日」普及拡大
- ・ボランティア活動の促進
- ・青少年育成地域活動支援事業(5件)
- ・青少年育成講師派遣事業(1回)
- ・情報メディア「出前」講座(17回)

情報発信

- ・SNS(不定期更新) LINE/Twitter/facebook
- ・ホームページ(不定期更新)



発行・制作

- ・わたしの一押し・わたしが思う未来のいわてつばやき作品集
- ・わたしの主張岩手県大会発表文集
- ・家庭の日カレンダーの発行(毎月1回)
- ・広報紙「青少年いわて」(11月/3月)
- ・アイーナインフォメーション(毎月1回)
- ・「いわて家庭の日」啓発グッズ(エコバッグ/スケール)
- ・令和4年度「いわて家庭の日」カレンダー

その他

- ・おうちキッズラボ(工作セットプレゼント)



正会員・協賛企業募集

県民会議では新規会員及び協賛企業を募集しています。
次世代を担う青少年の健全な育成を共に目指しませんか。

1. 会 員

会員には、県内各地で開催するイベントやシンポジウム等にご案内するほか、青少年に関する各種資料をお送りします。

2. 協賛企業

県民会議HPバナー広告、広報紙「青少年いわて」への広告、県民会議封筒への広告を有償で掲載させていただきます。

3. 会 費



個人会員	正会員	3 千円 / 年
	賛助会員	12 千円 / 一口
団体（法人）会員	正会員	6 千円 / 年
	賛助会員	25 千円 / 一口

4. その他

お問合せ・お申込みについては、県民会議
(019-681-9077) までご連絡ください。



青少年育成講師派遣事業

地域で活動する団体・グループが行う、青少年の育成に関わる研修会、講習会、会合等に講師を派遣するとともに、研修会等のプログラム案を作成・提案します。

対象団体

青少年育成市町村民会議、青少年育成団体、
青少年団体・グループ、PTAその他の団体



支援内容

- 支援対象団体が、研修会等の開催にあたって、講師の派遣を求める場合、県民会議が保有する講師人材リストに登録の講師から、研修会等のテーマに即した講師を派遣します。
- 団体が研修会等の開催にあたって、プログラム案等の提案の求めがある場合、県民会議は研修会等の目的に沿って企画及び講師等の提案を行います。

派遣期間

派遣の要請に応じるのは、**2023年1月末日**までに申請があったものです。

そ の 他

申請方法等、詳細についてはホームページでご確認ください。

ボランティア募集

誰かの力になる → あなたの力に

青少年活動交流センターでは、幼児～小・中学生等を対象とした様々な事業・イベントを行っています。

子どもたちと一緒に活動をする『ボランティア』しています！
みなさんの希望やできることに応じていろいろな形での参加が可能です。

ぜひ、子どもたちとふれあってみませんか？

詳細はセンターのホームページでご確認ください。

※青少年活動交流センターのボランティア登録をされた方には、イベント、事業の都度ご案内します。

ボランティア保険には主催者にて加入します。

活動例① いわて親子フェスティバルinアイーナ

※令和3年度は名称を「親子で遊ぼう！キッズラボミニ」に変更し、内容を一部変更して実施しました。

「アイーナで一日中遊ぼう」をテーマにしたフェスティバルの実行委員となり、“親子で見る・作る・やってみる” 楽しい企画をゼロから作って行きます。



自分たちが
企画する
フェスティバル



あなたの企画で
子どもたちに
最高の思い出を



活動例② いわて希望塾

※令和3年度は中止となりました。

中学生を対象とする集合研修の青年サポーターとなり、参加中学生の学びや体験活動のサポートを行います。



中学生の
夢や希望、
未来をサポート



先輩だから
伝えられる事が
きっとある



青少年育成地域活動支援事業助成

対象団体 青少年育成市町村民会議、青少年育成団体、
青少年団体・グループ、PTAその他の団体

対象事業 青少年の健全育成を目的とする体験・交流・
実践活動や、家庭や地域における青少年の
育成をテーマとする研修会・講演会等の活
動で、10 人以上の参加者により開催される
もの。



募集期間 2022年4月1日（金）～6月20日（月）

助成金額 1件あたり5万円を上限とし、予算の範囲内で交付します。

そ の 他 申請方法等、詳細についてはホームページで
随時お知らせしていきます。

情報発信中♪



@yacaiina



@ya_center



@vzi4606t

センター HP : <https://www.aiina.jp/site/seishounen/>

県民会議 HP : <http://www.ipayd.server-shared.com/>